

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	PC 耐震設計小委員会		主 査 名：丸田 誠 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 プレストレストコンクリート構造運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：深井 悟
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本委員会の目的は、本会による新しいプレストレストコンクリート設計指針に向けて、合理的な新 PC 耐震設計法を提案することである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 限界耐力計算法をベースとした、14 階建て、7 階建て建物設計や動解の実施 ・ 設計指針の執筆・(査読後) 改稿 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：丸田誠 (島根大学) 幹事：福井剛 (ピーエス三菱) 委員：加藤誠一 (オリエンタル白石建設)、傳金華 (ピーエス三菱)、加藤博人 (建研)、河野進 (京大)、河本慎一郎 (大成建設)、島崎和司 (神奈川大)、中塚侑 (大工大)、西山峰広 (京大)、深井悟 (日建設計)、眞田靖士 (豊橋技科大)、二村有則 (鹿島建設)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2011 年度予算	130,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. PD：プレストレストコンクリート建築物性能設計・施工指針(案)制定に向けて ーどう変わるのか? PC の設計と施工、E-ディフェンスでの実験もふまえて (新 PC 規準小委員会・PC 部材性能設計法小委員会と共同) 参加者数 83 名 『構造部門 (PC 構造) パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. PC 耐震設計指針 (案) の作成。性能型耐震設計法として完成させた。 2. 学会 PD にて設計指針案の説明を行った。 3. 保有耐力設計法の議論を始めた。 4. 耐震解析モデル (動解、漸増) について 2 棟の (PC14 階建て、PC7 階建て) 解析検討を十分行った。免震・制震建物の応答検討も行った。
委員会活動の問題点・課題	1. 地方の委員が多く、旅費が十分とはいえない。